

緑茶審査技術研修会で講師を担当

2 月 15 日、緑茶審査技術の向上を目的とした平成 29 年度第 2 回緑茶審査技術研修会が JA 全農京都主催で開催され、府内の茶業指導者約 50 名が参加しました。

当研究所職員は講師として出席し、茶業の指導において、茶園管理・製茶での技術的課題を抽出するために重要な技術である官能検査[※]について解説を行い、参加者からは、実際に茶市場で取り扱われたサンプルを用いた実習が分かりやすく有益であったと好評でした。

今後も、宇治茶の品質向上と産地の発展のため、的確な現地指導が行われるよう、茶業指導者を技術面から支援します。

※官能検査：人間の感覚（味覚、嗅覚、視覚など）を用いて品質を判定する方法



サンプルの審査をしながら解説